

---

# 2013年度 第2四半期 決算説明会

---

2013年11月6日



三菱ガス化学株式会社

## 本日の出席者

---

代表取締役社長      倉井 敏磨

天然ガス系化学品カンパニープレジデント      酒井 幸男

芳香族化学品カンパニープレジデント      山根 祥弘

機能化学品カンパニープレジデント      林 勝茂

特殊機能材カンパニープレジデント      城野 正博

財務経理センター長      佐藤 康弘

# 目次

1.	2013年度 第2四半期決算概要	...	p	4 ~ 8
2.	2013年度 通期業績予想	...	p	9 ~ 10
3.	セグメント別決算概要と下期見通し	...	p	11 ~ 20
4.	中長期的課題に向けて	...	p	21
5.	参考資料	...	p	22 ~ 24

# 連結 2013年度 第2四半期 実績



【単位:億円】

	13年度 2Q累計	12年度 2Q累計	増減	増減率
売上高	2,665	2,327	337	14.5%
営業利益	100	39	60	154.8%
(持分法利益)	(118)	(99)	(19)	(19.2%)
経常利益	215	112	103	92.0%
税前利益	212	77	135	174.9%
四半期純利益	185	81	104	128.6%

- 売上高は、円安による製品全般の販売価格上昇などにより、増収。
- 営業利益は、円安による輸出採算の改善、半導体・液晶向け製品の販売数量増加や、構造改革による汎用芳香族の固定費軽減などにより、増益。
- 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心に前年同期を上回り、経常利益も増益。

【単位:円/株】

1株当たり 四半期純利益	41.07	17.97
中間配当金	6.0	6.0

- 中間配当金は、前年同期と同額(6円/株)。

【参考】為替レート(円/\$)

12年度2Q累計:79円/\$

13年度2Q累計:99円/\$

※ 本頁以下に記載されている数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

# 連結 2013年度 第2四半期 営業外損益・特別損益



【単位：億円】

	13年度 2Q累計	12年度 2Q累計	増減
<b>営業外損益</b>	115	73	42
持分法投資損益	118	99	19
金融収支	▲ 3	▲ 3	0
為替差損益	▲ 0	▲ 8	8
その他	1	▲ 13	14
<b>特別利益</b>	1	3	▲ 1
<b>特別損失</b>	▲ 5	▲ 38	33
環境改善対策費用	▲ 2	▲ 3	0
事業構造改善費用	▲ 2	▲ 8	5
投資有価証券評価損	-	▲ 16	16
支払補償引当金繰入額	-	▲ 8	8
訴訟関連損失	-	▲ 1	1
減損損失	-	▲ 0	0

➤ 海外メタノール生産会社を中心とした持分法利益の増加などにより、営業外損益が増加。

➤ 投資有価証券評価損などの計上がなく、特別損益も改善。

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

# 連結 2013年度 第2四半期 貸借対照表



【単位：億円】

	13年9月末	13年3月末	増減	メモ
<b>流動資産</b>	2,679	2,613	65	
現預金	329	288	40	
売掛債権	1,241	1,278	▲ 36	
棚卸資産	944	880	63	
その他	164	166	▲ 1	
<b>固定資産</b>	3,796	3,525	271	
有形・無形固定資産	2,065	1,988	77	
投資有価証券	1,650	1,467	182	持分法適用関連会社の投資持分(+131)
その他の資産	80	69	11	
<b>資産合計</b>	6,476	6,139	337	
<b>負債</b>	3,218	3,190	28	
買掛債務	706	739	▲ 32	
有利子負債	1,934	1,826	107	長期借入金(+62)、短期借入金(+53)
その他	577	624	▲ 47	
<b>純資産</b>	3,258	2,948	309	
株主資本	3,158	3,013	145	利益剰余金(+145)
その他	99	▲ 64	163	為替換算調整勘定(+121)
<b>負債・純資産合計</b>	6,476	6,139	337	

自己資本比率 2013年9月末:48.5% 2013年3月末:46.2%
--

# 連結 2013年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書



【単位：億円】

	13年度 2Q累計	12年度 2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	156	248	▲ 91
税前利益	212	77	135
減価償却費	114	107	6
持分法投資損益	▲ 118	▲ 99	▲ 19
持分法適用会社からの配当金受取額	74	74	0
運転資金等	▲ 124	96	▲ 221
法人税等支払額	▲ 1	▲ 8	6
投資キャッシュフロー	▲ 166	▲ 155	▲ 10
設備資金	▲ 165	▲ 147	▲ 18
投融資資金等	▲ 0	▲ 8	7
財務キャッシュフロー	10	▲ 82	93
借入金・社債増減等	42	▲ 51	94
配当金支払	▲ 31	▲ 31	▲ 0
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	▲ 4	37
現金及び現金同等物の増減	35	6	28
現金及び現金同等物の期首残高	269	357	▲ 87
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減	4	-	4
現金及び現金同等物の期末残高	308	363	▲ 54

# 連結 2013年度 第2四半期実績(前回予想との対比) MGC

【単位:億円】

	13年度 2Q累計		増減	増減率
	(実績)	(5月予想)		
売上高	2,665	2,600	65	2.5%
営業利益	100	80	20	25.3%
(持分法利益)	(118)	(110)	(8)	(7.7%)
経常利益	215	170	45	26.9%
税前利益	212	150	62	41.5%
四半期純利益	185	140	45	32.5%

➤ 天然ガス系・芳香族において販売価格が改善、セグメント全般で固定費及び販管費が減少したことから、営業利益が20億円上振れ。

➤ 持分法利益や特別損益の改善により、当期純利益も45億円上振れ。

➤ 中間配当金は、期初計画と同額(6円/株)。

【単位:円/株】

1株当たり 四半期純利益	41.07	30.99
中間配当金	6.0	6.0



# 連結 2013年度 通期予想



【単位:億円】

	13年度				
	通期 (予想)	11月発表		5月発表	
		上期 (実績)	下期 (予想)	上期 (予想)	下期 (予想)
売上高	5,300	2,665	2,634	2,600	2,700
営業利益	160	100	59	80	80
(持分法利益)	(220)	(118)	(101)	(110)	(110)
経常利益	340	215	124	170	170
税 前 利 益	290	212	77	140	150
純利益	260	185	74	120	140

- 下期については、以下の要因により、上期比での減益を予想。
  - 電子工業用薬品や高純度イソフタル酸、BT材料などの減速
  - 定期修繕などによる固定費増加
  - ブルネイのメタノール生産会社の長期停止などによる持分法利益の減少
- 従って、通期予想は前回予想から変更せず。
- 年間配当金は、前回予想と同額 (12円/株)

【単位:円/株】

1株当たり 当期純利益	57.56
年間配当金	12.0

【参考】為替レート(円/\$)

13年度上期(実績): 99円/\$

13年度下期(予想): 95円/\$

# セグメント別 連結 2013年度（予想）



【単位：億円】

	13年度			12年度			増 減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,665	2,634	5,300	2,327	2,351	4,679	337	282	620
天然ガス系化学品	900	941	1,842	812	805	1,618	88	135	224
芳香族化学品	762	662	1,424	651	650	1,301	111	11	123
機能化学品	774	799	1,573	651	674	1,325	122	125	247
特殊機能材	288	271	560	264	267	532	23	3	27
その他	3	8	11	3	5	9	▲ 0	2	2
消去または全社	▲ 64	▲ 48	▲ 113	▲ 55	▲ 52	▲ 108	▲ 8	3	▲ 5
営業利益	100	59	160	39	74	114	60	▲ 15	45
天然ガス系化学品	20	15	35	▲ 6	24	17	26	▲ 8	17
芳香族化学品	20	2	23	▲ 6	13	7	27	▲ 11	15
機能化学品	36	24	60	44	24	69	▲ 8	▲ 0	▲ 9
特殊機能材	34	31	66	20	21	41	14	10	24
その他	1	1	2	1	2	3	▲ 0	▲ 0	▲ 0
消去または全社	▲ 12	▲ 15	▲ 27	▲ 14	▲ 11	▲ 25	1	▲ 3	▲ 1

(参考)

持分法利益	118	101	220	99	91	190	19	10	29
-------	-----	-----	-----	----	----	-----	----	----	----

# 天然ガス系化学品

【単位:億円】

	13年度			12年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	900	941	1,842	812	805	1,618	88	135	224
営業利益	20	15	35	▲6	24	17	26	▲8	17

## 13年度 上期(実績)

### ▶ 化成品、有機化学品

メタノールは、市況が堅調に推移し増収。

メタノール・アンモニア系化学品は、円安によるネオペンチルグリコール(NPG)やMMA系製品の輸出採算改善、アンモニア装置の修繕費減少などにより、増収増益。

### ▶ エネルギー資源

原油販売が数量、価格とも堅調に推移、前年同期並みの損益。

## 13年度 下期(予想)

メタノールは上期並みの売上高を見込む。

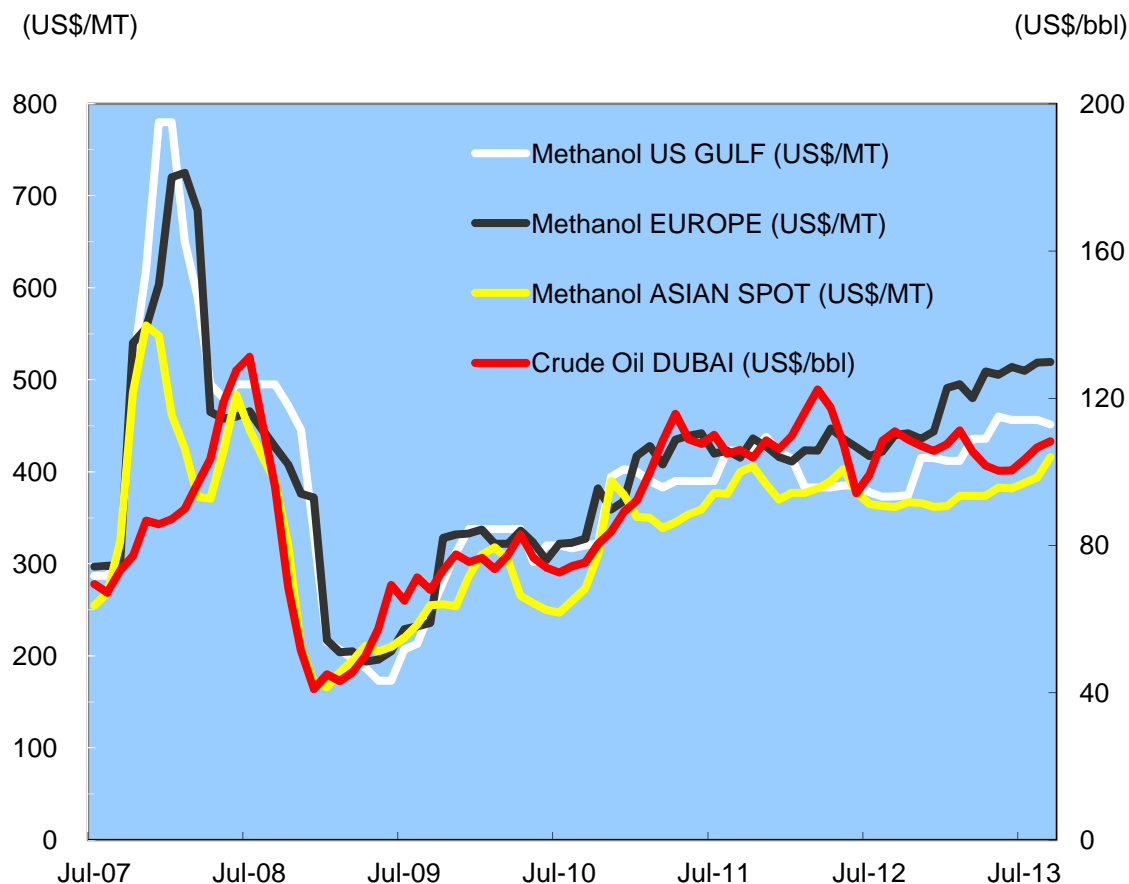
メタノール・アンモニア系化学品は、修繕費や減価償却費など固定費の増加により、減益を見込む。

原油販売は、販売数量の減少や固定費の増加を見込む。

# 天然ガス系化学品

## メタノール価格の推移、持分法利益の動向

### メタノール/原油価格の推移



### メタノール市況/持分法利益の動向

#### 13年度 上期実績(1~6月)

天然ガス供給制限や定期修繕などによる主要プラントの稼働減、中国MTOの旺盛な需要、原油価格の高止まりなどに支えられ、国際市況は高水準で推移。

当社グループの持分法利益は、円安の影響もあり、前年同期を上回る。

#### 13年度 下期予想(7~12月)

上期の状況が継続する中、下期も国際市況は高値圏で推移する見通し。

アジアスポット平均価格(前提) 400US\$/MT

当社グループの持分法利益は、ブルネイの長期停止などにより、上期比では減益を見込む。

# 天然ガス系化学品

## 設備投資・製品開発動向など

- ◇ メタノール/ジメチルエーテル(DME)
  - ・ トリニダード・トバゴにてメタノール/DMEのフィジビリティースタディーを継続中(メタノール100万トン、DME10万トン)
  - ・ 今年度中に最終投資判断、2016年度中の生産開始を目指す
  
- ◇ 有機化学品
  - ・ アンモニアの構造改革については、新潟プラントの停止時期、外部調達方法、必要な設備投資などを検討中
  - ・ 他のセグメントに供給する高機能モノマーが順調に伸長
  
- ◇ ピロロキノリンキノン(PQQ):健康食品素材
  - ・ 国内では食品区分への登録が決定
  - ・ 米国ではマーケティングが進展中
  - ・ 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討

# 芳香族化学品

【単位:億円】

	13年度			12年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	762	662	1,424	651	650	1,301	111	11	123
営業利益	20	2	23	▲6	13	7	27	▲11	15

## 13年度上期(実績)

### ▶ 特殊芳香族化学品

円安によりメタキシレンジアミン(MXDA)やMXナイロン、芳香族アルデヒドの輸出採算が改善し、増収増益。

### ▶ 汎用芳香族化学品

高純度イソフタル酸(PIA)及びメタキシレン(MX)は、販売数量の増加、円安による販売価格上昇、構造改革による固定費軽減などにより、増収増益。

## 13年度下期(予想)

MXDAやMXナイロンの販売数量は堅調に推移、芳香族アルデヒドは、主要ユーザー向けの販売数量増加を見込む。

11月末をもって、PIAは22→7万t/y、MXは22→15万t/yに生産規模を縮小。

PIAと原料キシレンのマージンは、7月以降低迷しており、下期も低調に推移すると想定。水島工場の定期修繕もあり、上期比では減益を見込む。

# 芳香族化学品 設備投資・製品開発動向など

## ◇不採算事業の再構築

- ・高純度イソフタル酸の事業規模縮小(松山工場撤退、水島工場一部減損)
- ・芳香族カルボン酸製品(無水ピロメリット酸など)、2014年3月末撤退予定

## ◇中核事業の強化拡大(MXDA-MXナイロン、芳香族アルデヒド)

- ・超強酸技術など固有技術のブラッシュアップ
- ・芳香族アルデヒドの新品種投入など誘導品の更なる拡大

## ◇核水添ポリカルボン酸

- ・LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして水島工場でセミコマーシャル生産を開始、上市に向けマーケティング中

# 機能化学品

【単位:億円】

	13年度			12年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	774	799	1,573	651	674	1,325	122	125	247
営業利益	36	24	60	44	24	69	▲8	▲0	▲9

## 13年度上期(実績)

### ➤ 無機化学品

過酸化水素は、国内需要低迷のため販売数量が減少、減収減益。

電子工業用薬品は、円安による輸出採算の改善や、海外の一部地域で半導体、液晶向けともに好調に推移したことから、増収増益。

### ➤ エンジニアリングプラスチック

ポリカーボネート(PC)上海プラントの損益悪化、ポリアセタール(POM)の販売価格下落などにより、減益。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ(FPD)向けフィルムの販売数量増加により、増収増益。

## 13年度下期(予想)

過酸化水素は、引き続き低調な国内需要を見込む。

電子工業用薬品は、半導体向けハイブリッドケミカルの販売価格が下落、海外子会社も4社トータルでは損益悪化を想定、全体では上期比で減益の見込み。

PC、POMともに事業環境の好転には時間を要する見込み。上海のPCプラントも、厳しい状況が続く。

PCシート・フィルムは、液晶テレビの販売減速により、FPD向けフィルムの販売数量減少を見込む。



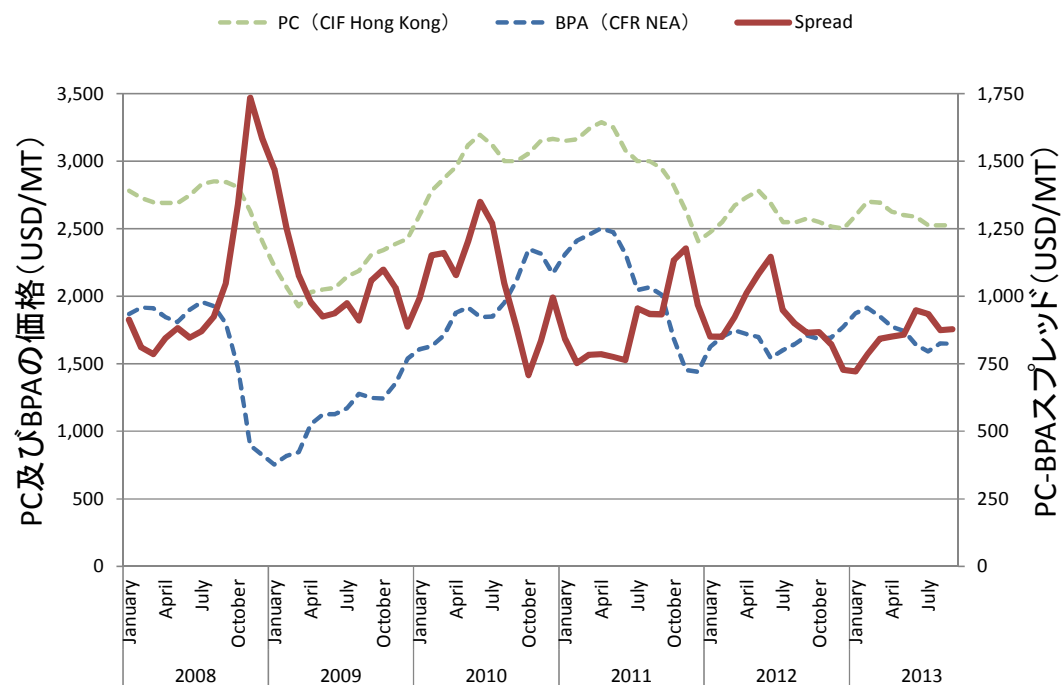
# 機能化学品 設備投資・製品開発動向など

- ◇ 電子工業用薬品
  - ・ ハイブリッドケミカルは、半導体やディスプレイ分野における次世代トレンドを把握、グローバルワイドに顧客層の拡大を目指す
- ◇ レンズモノマー
  - ・ 高屈折率品の更なる拡販と汎用グレードの開発、ラインナップの充実
- ◇ 特殊ポリカーボネート
  - ・ モバイル機器のカメラレンズ向けを中心として採用が拡大中
- ◇ ポリアセタール
  - ・ タイは10万t/yへの増設完了、韓国は14年1Qに14万t/yへの増設が完了予定
  - ・ 自動車分野など高付加価値分野への拡販を目指す

## 機能化学品

## PC-BPAスプレッド

## PC-BPAスプレッドの推移



- コンパウンド、高透明グレードなど高付加価値品へのシフト
  - 素材からの材料開発力を生かした川下製品(シート・フィルム)の高機能化
- 等により、ポリカーボネート事業の収益改善を図る。

出所: ICIS

● 需給バランス軟化による市況下落で、スプレッドが縮小。

# 特殊機能材

【単位:億円】

	13年度			12年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	288	271	560	264	267	532	23	3	27
営業利益	34	31	66	20	21	41	14	10	24

## 13年度上期(実績)

### ➤ 電子材料

半導体パッケージ向けBT材料は、スマートフォン関連用途を中心とした販売数量の増加や、輸出採算の改善により、増収増益。

### ➤ 脱酸素剤

国内の食品用途が堅調に推移したことに加え、海外の医薬品用途などが伸長し、増収増益。

## 13年度下期(予想)

BT材料は、8月以降、最先端品、汎用材とも需要鈍化や顧客の在庫調整により、販売が減速。1月以降の需要回復を見込むものの、上期比では減益を予想。

国内の食品用途、海外の医薬品用途ともに堅調に推移する見込み。季節要因もあり、上期比では増収増益を見込む。

# 特殊機能材

設備投資・製品開発動向など

## ◇ BT材料

- ・ タイに第2拠点(MGCエレクトロテクノ タイランド)、6月完工、銅張積層板として月産25万m<sup>2</sup> 試作、顧客認定作業を経て、14年初より商業運転開始予定
- ・ 製品開発の迅速化と生産技術の深化発展を目的として、MGCエレクトロテクノ(福島県)に、試作研究棟を建設中
- ・ 低熱膨張(Low CTE)材、高T<sub>g</sub>材、高弾性率材の開発推進と採用拡大

## ◇ エージレス®

- ・ 食品の個包装化に対応した超小型グレードを拡充、市場展開中

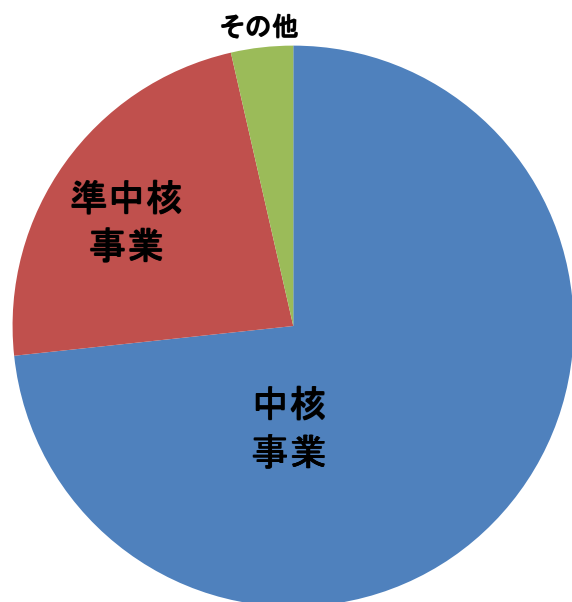
## ◇ ファーマキープ®

- ・ 医薬品・医療用具向けの脱酸素剤  
薬効成分の性能維持などに優れ、製薬会社などに展開中

# 中長期的課題に向けて 新規事業の創出と育成の加速

## 過去10年の損益累計

●過去10年の収益構造は中核、準中核事業への依存度が高く、新規事業が大きく育っていないと認識。



## MGC Will2014基本方針

- 中核事業の強化
- 不採算事業の再構築
- **新規製品の創出と育成の加速**
- 持続的成長を支える<質>の向上

- **未来事業創出プロジェクトの推進。**
- **「MGC将来ビジョン策定ワーキンググループ」で、中長期的なMGCの将来像や取り組むべき事業についての構想を策定。**

# (ご参考) セグメント別 連結経常利益の推移

【単位:億円】

	13年度			12年度			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	215	124	340	112	164	276	103	▲ 39	63
天然ガス系化学品	108	78	187	65	94	159	43	▲ 15	27
芳香族化学品	18	▲ 9	8	▲ 11	2	▲ 8	30	▲ 12	17
機能化学品	41	24	66	45	21	67	▲ 3	3	▲ 0
特殊機能材	37	26	64	19	24	44	18	1	20
その他	9	11	20	7	7	15	1	3	5
消去または全社	▲ 0	▲ 7	▲ 7	▲ 14	13	▲ 1	14	▲ 20	▲ 6

# (ご参考) 各種指標 (1)

## 1. 各種指標推移(連結)

(億円)

	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度 (予想)
設備投資額 (うち第2四半期累計)	175 (132)	295 (147)	394 (160)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	310 (138)
減価償却費 (うち第2四半期累計)	188 (94)	198 (91)	245 (110)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	240 (114)
研究開発費 (うち第2四半期累計)	106 (55)	115 (58)	136 (66)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	151 (72)	166 (80)
人員(年度末)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,216人	5,323人	5,499人
1株当たり当期純利益(円/株)	70.98	86.63	87.01	15.30	12.89	41.92	27.28	▲17.25	57.56
ROA(総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	4.5%	4.6%	5.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	4.4%	▲2.8%	8.9%
1株当たり配当額(円) (うち第2四半期末)	10.0 (4.0)	14.0 (6.0)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	8.0 (4.0)	8.0 (4.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)

## 2. セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)

(億円)

		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度
設備投資額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	71	140	139	63
	芳香族化学品	47	75	172	106	77	45	47	57
	機能化学品	69	87	74	91	81	148	216	150
	特殊機能材	32	70	92	47	45	18	18	33
	その他	0	0	0	0	1	3	1	3
減価償却費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	75	86	77	62
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	78	77	58
	機能化学品	71	80	96	97	86	80	84	77
	特殊機能材	35	36	42	51	51	42	35	27
	その他	0	0	0	0	4	4	3	3

## (ご参考) 各種指標(2)

### 3. 業績前提

	05年度		06年度		07年度		08年度		09年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	279	238	276	376	332	398	424	336	195	246
原料キシレン (US\$/MT)	690	740	1,000	870	960	950	1,200	600	770	870
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700
ポリカーボネート (US\$/MT)	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,400 ~2,750	2,600 ~2,850	2,400 ~2,850	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900
為替(円/US\$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90

	10年度		11年度		12年度		13年度		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期 (予想)	
メタノール (US\$/MT)	283	307	349	385	385	364	375	400	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	830	1,050	1,260	1,280	1,190	1,320	1,230	1,190	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,500 ~1,800	1,600 ~2,000	1,550 ~1,800	1,550 ~1,800	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	
為替(円/US\$)	89	82	80	78	79	87	99	95	

※メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月の価格を表記しております。



# お問い合わせ先

---

三菱ガス化学株式会社  
広報IR部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

## <見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。